

授業科目	* 疾病学各論Ⅱ					実務家教員担当科目	○				
単位	2	履修	必修	開講年次	2	開講時期	前期				
担当教員	浅野 嘉延、目野 郁子、定永 敦司										
授業概要	<p>実務家教員として、病院に長く勤務している内科医、精神科医、小児科医が、自らの臨床経験をもとに現在の医療現場で必要とされる疾病学の知識について解説します。疾病学各論は看護師の日常業務に直結する内容で、全ての看護科目の基盤となる非常に重要な授業です。疾病に関する十分な知識がなければ、適切な看護を行うことはできません。各領域の主な症候、検査手技、治療法、主要疾患の概念、疫学、症状、検査所見、治療、予後などについて解説するだけでなく、医療人としての心構えや命の大切さについて折に触れてお話しします。</p> <p>疾病学各論Ⅱで解説するのは、診療総論、内科領域（腎臓・泌尿器疾患、血液疾患、膠原病・アレルギー疾患、感染疾患）、精神科領域、小児科領域、運動器領域、眼科・耳鼻科・皮膚科領域です。1年次に学修した専門基礎領域を担当教員が振り返り、疾病の知識と統合する授業もあります。</p>										
授業形態	講義	授業方法	Google classroom で質問を受け付けます。								
学生が達成すべき行動目標											
標準的レベル	<p>主要な疾患に関する基本的な知識を身に付け、人に説明することができる。疾患に関する知識をもとに、看護をする際の注意点を説明することができる。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 各領域の主な症候、検査手技、治療法について説明できる。</li> <li>2. 主要疾患の病態を説明できる。</li> <li>3. 主要疾患の疫学、症状、検査所見、治療を説明できる。</li> <li>4. 看護のポイントを説明できる。</li> </ol>										
理想的レベル	<p>疾病学の十分な知識をもとに、様々な疾患が関係しあう患者の病態を総合的に把握することができる。適切な診断、治療、看護をシミュレーションすることができる。</p>										
評価方法・評価割合											
評価方法		評価割合（数値）			備考						
試験		90%			期末試験は看護師国家試験の形式で行います。						
小テスト											
レポート											
発表（口頭、プレゼンテーション）											
レポート外の提出物											
その他		10%			授業貢献度						
カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング											
DP1	○	DP2	○	DP3	-	DP4	-	DP5	-	ナンバリング	NU11106J
学習課題（予習・復習）										1回の学習目安（時間）	

授業範囲の予習と復習を行ってください。		1
授業計画		
第1回	テーマ：診察総論（浅野嘉延） 医療面接、身体診察、チーム医療などについて解説する。	
第2回	テーマ：腎臓・泌尿器疾患(1)（浅野嘉延） 腎臓・泌尿器領域の主な症候、血液透析について解説する。	
第3回	テーマ：腎臓・泌尿器疾患(2)（浅野嘉延） 慢性腎臓病、糸球体腎炎、続発性腎疾患について解説する。	
第4回	テーマ：腎臓・泌尿器疾患(3)（浅野嘉延） 泌尿器疾患（尿路結石症、前立腺肥大症、腎細胞癌など）、腎不全について解説する。 *腎臓・泌尿器疾患の復習をする。	
第5回	テーマ：血液疾患(1)（浅野嘉延） 血液領域の主な症候、輸血療法、造血幹細胞移植、赤血球疾患（鉄欠乏性貧血など）について解説する。	
第6回	テーマ：血液疾患(2)（浅野嘉延） 赤血球疾患（再生不良性貧血など）、白血球疾患（白血病、悪性リンパ腫など）について解説する。	
第7回	テーマ：血液疾患(3)（浅野嘉延） 出血疾患（特発性血小板減少性紫斑病など）について解説する。 *血液疾患の復習をする。	
第8回	テーマ：膠原病・アレルギー疾患(1)（定永敦司） アレルギー反応、膠原病一般、ステロイド薬について解説する。	
第9回	テーマ：膠原病・アレルギー疾患(2)（定永敦司） 関節リウマチについて解説する。	
第10回	テーマ：膠原病・アレルギー疾患(3)（定永敦司） 膠原病（全身性エリテマトーデスなど）について解説する。	
第11回	テーマ：感染症(1)（目野郁子） 全身症状を起こす主なウイルス性疾患について解説する。	
第12回	テーマ：感染症(2)（目野郁子） 呼吸器感染症を起こす主な細菌・ウイルス性疾患について解説する。	
第13回	テーマ：感染症(3)（目野郁子） 消化器感染症・食中毒を起こす主な細菌・ウイルス性疾患について解説する。	
第14回	テーマ：マイナー診療科の疾患(1)（浅野嘉延） 運動器疾患（骨折、変形性関節症など）、眼科疾患（白内障、緑内障など）を解説する。	
第15回	テーマ：マイナー診療科の疾患(2)（浅野嘉延） 耳鼻科疾患（アレルギー性鼻炎など）、皮膚科疾患（接触性皮膚炎など）を解説する。	
第16回	テーマ：小児科疾患(1)（外部講師） 新生児領域の疾患と内科系疾患（遺伝性・内分泌・代謝系疾患）について解説する。	
第17回	テーマ：小児科疾患(2)（外部講師） 小児期にみられる内科系疾患（感染症疾患、アレルギー）について解説する。	
第18回	テーマ：小児科疾患(3)（外部講師） 小児期にみられる内科系疾患（腎・泌尿器系・消化器系疾患）について解説する。	

第19回	テーマ：小児科疾患(4) (外部講師) 小児期にみられる内科系疾患(循環器・神経疾患)について解説する。
第20回	テーマ：小児科疾患(5) (外部講師) 小児期にみられる内科系疾患(血液・腫瘍系・免疫系疾患)について解説する。
第21回	テーマ：小児科疾患(6) (外部講師) 小児期にみられる内科系疾患(精神系疾患)、運動器・感覚器系疾患および急病や事故など緊急時の対応について解説する。
第22回	テーマ：精神科疾患(1) (外部講師) 統合失調症について解説する。
第23回	テーマ：精神科疾患(2) (外部講師) 気分障害について解説する。
第24回	テーマ：精神科疾患(3) (外部講師) 神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害について解説する。
第25回	テーマ：精神科疾患(4) (外部講師) 生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群(摂食障害など)について解説する。
第26回	テーマ：精神科疾患(5) (外部講師) 症状性を含む器質性精神障害(アルツハイマー病の認知症など)について解説する。
第27回	テーマ：精神科疾患(6) (外部講師) 精神作用物質使用による精神障害及び行動の障害について解説する。
第28回	テーマ：1年次の振り返り/感染予防対策 (目野郁子) 1年次の「感染と免疫」で学習した内容と感染症の知識を統合する。 感染予防対策について解説する。
第29回	テーマ：1年次の振り返り/循環器・腎臓 (定永敦司) 1年次の「看護形態機能学」で学習した内容と疾病学の知識を統合する。 血圧や循環血液量の調節について解説する。
第30回	テーマ：1年次の振り返り/呼吸器・肝臓 (定永敦司) 1年次の「看護形態機能学」で学習した内容と疾病学の知識を統合する。 呼吸不全や肝不全について解説する。
テキスト	教科書：看護のための臨床病態学(改訂5版)、浅野嘉延・編、南山堂 ポイントをまとめたプリントを配布します。 小児科疾患や精神科疾患のテキストやプリント配布は担当教員(外部講師)から指示があります。
参考図書・教材/データベース・雑誌等の紹介	参考図書：看護のための臨床検査、浅野嘉延・著、南山堂 その他、講義のなかで紹介します。
課題に対するフィードバック	成績発表後にクラスの評価分布を提示します。

ドバツ クの方 法	
学生へ のメッ セー ジ・コ メント	<p>疾病に関する知識は全ての看護科目の基盤となり、卒業後は看護師の日常業務に不可欠です。看護師国家試験でも大きなウエイトを占めています。疾病学の系統講義は「疾病学各論 I」「疾病学各論 II」で最後となります。1年次の「形態機能学」「疾病学総論」の知識を整理してから授業に臨んでください。2年次の「薬理学」「看護のための臨床検査」とも関連します。疾病を多面的に捉えて理解するように心掛けてください。</p> <p>講義は教科書と配布資料に沿って行いますので、該当する箇所を予習するとともに、講義後はしっかりと復習することが大切です。質問があったら Google classroom に投稿してください。日頃からジャーナルやインターネットなどで疾病や健康についての関心を高め、分らないことは教員に質問したり図書館で調べるなど積極的な姿勢を期待します。</p> <p>この授業では医療現場で勤務している臨床医に外部講師を依頼しています。仕事の都合などで、授業の順序が入れ替わることがあります。その場合は前もって通達します。</p>